

地域おこし協力隊かわら版

協力隊インタビュー 大室 隊員



無線機器の点検に三ノ倉へ。
景色が良かったので撮ってもらいました。



サル対策用電気柵の設置指導のようす。
設置が甘く隙間から侵入されそうです。私に。



薪割り&焚火体験イベントのようす。
薪割りはストレス発散に良いですよ。

大室 拓也 隊員

(市民部 市民生活課 有害鳥獣対策室 所属)

着任日：2022年4月1日着任

前住所：宮崎県延岡市から移住

活動内容：有害鳥獣対策



Instagram アカウント

@kitakataokoshi_chouju

Q1 ▶ 協力隊に赴任したきっかけは？

私は、生まれが広島に限界集落で、昔から里山の風景が大好きでした。化学メーカーで4年勤めましたが、里山で暮らしたいという気持ちが次第に強くなり、友人の縁もあって会津への移住を決めました。地域おこし協力隊に関しては、里山の保全に関わりたと思ったのと、単に有害鳥獣対策をするだけでなく、伐採した果樹などの副産物を利活用しようという取り組みがユニークだったので応募しました。

Q2 ▶ 協力隊としてどんな活動をしている？

市民生活課の有害鳥獣対策室に所属しております。(市役所1階です)有害鳥獣対策に関する行政的な業務を現場に出て学びつつ、鳥獣対策×地域振興が実現できるようなアイデア探しをしています。今年度は小規模ながら、鳥獣対策で伐採した柿の木を薪にして、親子で楽しめる薪割り&デイキャンプイベントを実施しました。

Q3 ▶ 協力隊をやっていて良かったことは？

一番は市民の皆様が暖かく応援して下さることです。多くの方と関わるのも、とても新鮮な体験です。また鳥獣対策というテーマは、農林業だけでなく、アウトドアや観光の分野まで広く関わっています。その中で、自分の力を発揮できる方向に活動内容を振っていけるのも楽しいですね。

Q4 ▶ 今後の活動の予定・計画は？

木材に関しては、薪としての利活用を進めていきたいと思っています。来年もアウトドアイベントを開催したいと考えておりますので、その際はぜひご参加ください！
また、今後の活動拠点も作っていきなと考えています。

Q5 ▶ 市民の皆さんへPR!!

いつも暖かく見守っていただきありがとうございます。
鳥獣対策に取り組むとき、里山の人口減少や高齢化、農林業の担い手不足など、大きな問題点に目を向ければ暗い気分になってしまいますが、集落内にあるもので、できることはまだまだあると思います。鳥獣対策をきっかけに集落が結束を強めていく。そのお手伝いが出来たらいいなと考えておりますので、今後とも応援の程宜しく願いいたします。

地域おこし協力隊活動中

小田付伝統的建造物群保存地区担当から

1月17日の小田付初市に合わせ、小田付蔵通りにて「六斎市」が開催されました！「六斎市」とは、月に6回行われた定期市の呼び名で、小田付の成り立ちに深い関わりがあります。いつの日か、六斎市を復活させたい...そんな思いの元集まった同志で、当日は振る舞い酒あり、食事あり、DJあり、アートありの大賑わい。かつての六斎市とはまた違った、人・モノ・文化・歴史・思いが混じり合う新しい形の市が生まれました。今後も定期的開催予定！ぜひチェックしてみてくださいね♪



高郷雷神そば担当から

高郷雷神そば担当の加藤です。そば打ちは、まったくの素人で、恥ずかしながら、これまでやったことがありませんでした。そんな私ですが、皆様の熱心なご指導ご鞭撻のおかげで、今では雷神そばを、お客様へご提供ができるまでに育てていただきました。本当にありがとうございます。とは言え、まだまだ半人前です。来年度には、ふれあいランド高郷の正式なそば打ち担当になれるよう精進して参ります。



【Instagram】
kitakatacity.takasato_official



有害鳥獣被害対策担当から

有害鳥獣対策担当の大室です。鳥獣対策のために伐採した柿の木を薪にしてみたり、製材してみたり。同じく対策のため竹藪から切り出した竹を灯籠にしてみたりと、色々と利活用の方法を試しています。集落のイベントにこれらが活用できればと考えています。



雄国根曲り竹細工保存会担当から

任期が残すところ4ヶ月となった担当の伴です。雄国根曲り竹細工保存会（以下、保存会）ではこの数年で地域おこし協力隊が3名卒業しましたが、私自身活動して実感するのが、やはり難しいのは今後どのようにこの保存会を残すかということです。「保存会が無くなる＝伝統技術が無くなる」ではありませんが、今の人員だけでは福島からまた一つ伝統技術が失われる日がいつかはきてしまいます。解決策の一つとして関係人口作りという言葉を目にする機会も多いかと思いますが、実際のところ新たに関係人口を築くことも、後継者育成と同様に難しさを感じます。どうすればいいものか、悩ましいですね。



【Instagram】
@oguni.yori_

文化芸術創造都市推進担当から

春ですね！次年度は私の卒業の年です。卒業してからも喜多方で生活ができるように、生活地盤を固めていかないといけない年度になります。そのための活動を4月から進めていきます。

- ① 子たちが学べる拠点を作る。（これから必要な創造的思考を持てる学びの場です）
 - ② 対話型鑑賞を広める。（絵を見て話しをすることで、思考が磨かれます）
 - ③ 小さな自治体での「文化的な活動」を考えます。（大都市の文化芸術とは違うはず）
- みなさん、見守りやご支援ください！



令和5年3月31日卒業隊員ご挨拶



田村 幸絵 隊員

小田付伝統的建造物群
保存地区担当

様々なことに挑戦させてもらい、多くの失敗を受け入れてくれた寛大な喜多方の皆様のおかげで、卒業を迎えることができます。3年間、地域の方が大切に繋いできた“文化”や“伝統”と向き合い、学生たちが見つけた小田付の宝と照らし合わせながら、より光の輪郭を強めています。その光は、喜多方という恵まれた土地の中でひた向きに生きる人々が生み出してきたものだと思います。この町にはロマンがまだまだ隠れています。それは蔵に閉まっているのでしょうか。この土地の魅力をまだまだ見たいと思い、小田付に理想の家を見つけ家族で住むことになりました。喜多方愛が止みません♡



森田 正明 隊員

熱塩加納町担当

8か月延長し3年8か月の長きにわたりお世話になり心より御礼申し上げます。ありがとうございました。この間、有機農業のドキュメンタリー等150本超えの映像制作、千日の写真エッセーの熱塩加納 HP 制作、PRパンフレット…。熱塩加納元気節体操では厚労省などの全国区のコンテストに3年連続入賞し、また YouTuber 講座や Web 会議講座などデジタル化にも尽力して参りました。今後も引き続き大好きな熱塩加納に居を構え35年続けてきた上記生業に加え、遊休田を活用したピオトープの管理や里山再生、福大コラボゼミなど地域活性に努めて参る所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。